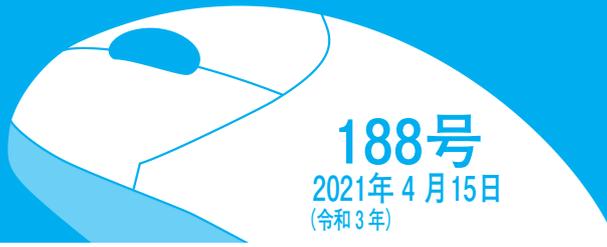


徳島ペンクラブ通信



1967年(昭和42年)創立

発行

徳島ペンクラブ

徳島市東沖洲2丁目1-13

徳島県教育印刷(株)内

TEL 088-664-6776

188号

2021年4月15日

(令和3年)

徳島ペンクラブ賞決まる

最優秀は

散文 野上恵子さん 「浩一の旅路」

韻文 山崎泰子さん 「螢」

徳島ペンクラブ選集PART38に掲載された作品の中から、会員の皆さんの投票で選ぶ徳島ペンクラブ賞の受賞者が決まりました。コロナ禍の蔓延が心配されるため、表彰式は5月16日の徳島ペンクラブ総会(2面に詳報)の中で行われます。散文部門(随筆、小説、評論など)では野上恵子さんの「浩一の旅路」が23点を獲得、韻文部門(俳句、川柳、短歌、詩、連句など)では山崎泰子さんの「螢」が19点で最優秀賞に選ばれました。野上さんは「愚かさの懺悔録。ダメな親の元でも、

命の限り明るく優しく毅然と生きた魂の存在したことを知っていたら……」と話し、また山崎さんは「この度は思いがけない賞をいただき、感謝しています。螢も喜んでいきます」と喜びを語っておられました。今回は散文・韻文部門に分け二人ずつ投票してもらい、各部門とも一人目は2点、二人目は1点で計算しました。41人の皆さんから投票があり、最優秀賞、優秀賞、佳作、次点の作品名、受賞者、得点は次の通りです。また得点のあった作品名は2面に掲載しています(敬称略)。

○散文部門○

最優秀賞 「浩一の旅路」野上恵子23点
優秀賞 「ウイズコロナとダイヤモンド」鈴木綾子20点

佳作 「返却されなかった本」竹内紘子10点
次点 「ビールの泡」青木慧7点
次点 「慢心を諫める」小川公三6点

○韻文部門○

最優秀賞 「螢」山崎泰子19点
優秀賞 「母の消滅」松田一美16点
佳作 「忌部味噌」船越淑子14点
次点 「熟年夫婦のつばやき」渡辺恵子11点
次点 「ナイフ疵」上窪青樹9点
次点 「大旦那」福島せいぎ7点
次点 「本を読む人」本田まもる6点

次点 「大旦那」福島せいぎ7点
次点 「本を読む人」本田まもる6点

散文部門優秀賞



鈴木綾子さん

散文部門最優秀賞



野上恵子さん

韻文部門優秀賞



松田一美さん

韻文部門最優秀賞



山崎泰子さん

総会

2021年5月16日(日)

午後1時30分～

阿波観光ホテル

詳細は、2頁をご覧ください。

1)出席を

総会時にペンクラブ賞表彰式

5月16日(日) 西池冬扇さんが講演

コロナ禍のため、昨年は徳島ペンクラブ賞表彰式並びに総会がやむなく中止となりました。今年も依然として油断のできない状態が続いています。このため5月16日の総会時にペンクラブ賞表彰式を行うことになりました。

場所 徳島駅前 阿波観光ホテル

講演 午後1時30分から俳誌「ひまわり」主宰の俳人、西池冬扇さんが「近・現代は何を葬ってきたか」鬼滅の刃の世界を考える」と題して行う

表彰式並びに総会 午後3時30分終了予定

会費 1,000円(飲み物・菓子代)

申込 同封のハガキ用紙(63円切手貼付を)

備考 申込後のキャンセルは2日前までに連絡をお願いします

連絡先 安曇統太さん 電話090 8692 9613

徳島ペンクラブ賞 得点を得た作品名	
散文部門	<p>5点 「アイラブユー」はもういらぬ 「青年は荒野を目指す」 「隠れ鬼」乳児「裏年」</p> <p>4点 「平成の桜守」</p> <p>3点 「花嫁修業」「樞の話」「負の戦記」</p> <p>2点 「冷や汗をかきながら作詞した木頭ゆず」「隊長殿」「言葉の変遷」 「晩秋の山道」「私の覚悟」</p> <p>1点 「忘れられない花」「私のダイエツト奮闘記」「小さい桜ケーキ」</p>
韻文部門	<p>「きんぴらごぼう」「不死身の男」 「徳島本線」</p> <p>5点 「秋のこゑ」</p> <p>4点 「春の闇」</p> <p>3点 「太宰萌え」「低気圧」「県民」 「国生みの鳥」「闇を覆ふ」</p> <p>2点 「祈り」「雀」「ノモンハン」 「ゴージュのセロ」「白百合」</p> <p>1点 「ルージュ痕」「秋さやか」</p>

第22回

とくしま随筆大賞

応募締切
6月30日

今回から徳島新聞社と
共催します



● **応募規定** 内容は自由(エッセー、随筆、主張など)。1人一編、オリジナルで未発表の作品に限る。A4、四百字詰め原稿用紙3枚以上5枚まで(縦書き)。パソコンの場合はA4サイズ横版にタテ40字×ヨコ30行(ポイント12)。原稿用紙に通し番号(ページ)を記入。1行目に作品名と氏名を記入、2行目から本文。別紙に、

① 作品名 ② 氏名 ③ 性別 ④ 年齢 ⑤ 郵便番号・住所 ⑥ 電話番号 ⑦ 学校名・学年(学生・生徒の場合)を原稿に添付。筆名の場合も、本名と筆名を記入。

● **応募資格** 徳島県内在住者、徳島県出身者、外国人の方は日本語で応募

● **作品送付先** 〒770 0873 徳島市東沖洲2丁目1の13 徳島県教育印刷棟内 徳島ペンクラブ「第22回とくしま随筆大賞」係

● **締め切り** 2021年6月30日(当日消印有効)

● **発表** 8月(予定) 徳島新聞に発表、および本人に通知

● **賞**

- ▽ とくしま随筆大賞 賞状・賞金3万円(1名)
- ▽ 徳島新聞社賞 賞状・賞金3万円(1名)
- ▽ 優秀賞 賞状・賞金1万円(3名)
- ▽ 奨励賞 賞状・賞金5千円(2名)

随筆大賞・徳島新聞社賞の作品は徳島新聞と「徳島ペンクラブ選集」に掲載。

● **表彰式** 9月12日(日) 場所 阿波観光ホテル
詳細は後日、受賞者に直接通知する

● **審査員** ▽依岡隆児(徳島大学総合科学部教授) ▽柏木康浩(徳島新聞生活文化部担当部長) ▽丁山俊彦(徳島ペンクラブ会長) ▽竹内菊世(阿波の歴史を小説にする会会長)

詳しいことは
随筆大賞実行委員会委員長 上窪青樹 電話 090 7142 2852

好評だった徳島「花」ものがたり

県内4カ所で開催

昨年10月の第22回徳島県民文化祭分野別フェスティバルでは、県内に咲く花を取り上げました。会員らが撮影した各地の花に加えて、その花に対する思いなどを添え、一枚のパネルにし、徳島市の県立文学書道館1階で展示し好評でした。

そこで昨年の「徳島の歴史的建造物」巡回展に続いて、今年も「徳島『花』ものがたり」巡回展を、県内4カ所を開きました。まず1月16日から同24日まで阿南市の那賀川図書館で、続いて徳島市のあわぎんプラザ（1月26日～2月2日）、「歴史的建造物の魅力」展も併設、美馬郡の貞光ゆうゆう館（3月1日～同14日）、阿波市の土成中央公民館（3月20日～同28日）の順で開催され、中でも貞光ゆうゆう館では県外の人も多く立ち寄っていました。



貞光会場巡回展

両展のパネル1冊の本に

「徳島『花』ものがたり」と「徳島の歴史的建造物の魅力」をまとめ、一冊の冊子にしました。会員の皆様には12月に1冊ずつ送付しました。残りわずかですが、必要な方は山口藍人さん（電話090 49 74 7426）までご連絡ください。



リレーエッセー



泳ぐのが好きで、いろいろな所で泳いだ。大神子や小神子海岸は現在、遊泳禁止だが、以前、小神子海岸で夜、泳いでいたとき不思議な現象に遭った。平泳ぎをしていて、両手で掻くと青白く光り輝き、とても綺麗だった。なんの事か意味が分からないまま泳ぎ続けたが、後日それが、夜光虫だったと知り、今になって感動している。

また、高知県四万十市で開催のスイムマラソンにも参加した。3・5キロと5キロのコースがあり、私は5キロのコースにチャレンジした。スタート地点は四万十川佐田沈下橋。ラジオ体操の後、それぞれバスで二つのスタート地点まで移動し、ゴールの赤鉄橋を目指した。事故があつては困るので、四十教育委員会では、参加者全員にプル（浮子）を腰に付けるよう指導していたが、誰も付けない。付けない場合は受付の名簿に（事故は自分の責任だとい

アユと一緒に泳ぐ

う印に）拇印を押し参加する。受付で水泳キャップを受け取り、キャップと左上腕部に男性は黒、女性は赤のマジックで参加者番号を書かれる。

スタート地点では、踊り足袋を履いている人を大勢見かけ不思議に思っていたが、泳いでみてわかった。四万十川は「日本最後の清流」と呼ばれ、水質は抜群、料理用や業務用の水としても人気で名水に選ばれているようだが、四万十川の途中は、川幅の狭いところや浅瀬があり、泳げない。ここでは、走ったり、歩いたりすることになる。泳ぎでは先頭グループに入っていたが、浅瀬は丸い石がごろごろして歩いて歩くのも痛い。へっぴり腰で歩いていると、どんどん追い抜かれていく（そこで踊り足袋の意味を納得）。それでも鮎と一緒に泳ぐのがとても楽しく、ゴールの赤鉄橋を目指した。四万十川の鮎と一緒に泳ぎ、完泳するとメダルが首に掛けられ完泳証がもらえた。

残念ながら現在は川床の状態が変化し、開催を延期している。再開できるめどが立ち次第、開催日程等が掲示されるといふ。（早見敏子）

ペンクラブ

春の一文／学／散／歩

—— 鳴門市大谷周辺を歩く

4月29日(木・祝日)

昨年はコロナ禍により秋に延期し挙
行いたしました。今年恒例のとお
り、4月29日に開催することといたし
ました。

今回は鳴門市大谷周辺を歩きたいと
思います。当地は地名にあるように大
谷焼が有名ですが、ほかにも名所が
数々ありますので、是非ご参加くださ
い。

開催日 ▼ 4月29日 (木・祝日)

集合時間 ▼ 午後1時

集合場所 ▼ 阿波神社 (鳴門市大麻町大谷) 駐車場

コース ▼ 阿波神社 → 東林院 → 宇志比古神社 → 森陶器 → 福寿醤油 → 松浦酒造場 → 阿波神社 (解散)

※東林院境内には「ろうそく夜」という喫茶店がありますので、開
店していただくと休憩したいと思っております。木曜は営業日
ですが、電話も公表していませんというユニークな店のようなの
で、開いていただければ幸いです。開いていないことある
りますので、飲料・おやつなどは自分でご用意ください。

申し込み ▼ 文学散歩に参加を希望される方は、開催日の3日前まで
に電話連絡ください。

連絡先… 丁山俊彦 電話 090 4508 0538



森陶器 登り窯

受賞おめでとう

敬称略

- 「第18回とくしま文学賞」随筆 最優秀賞 坂井陽 連句 最優秀賞 関真由子 優秀賞 三輪和 二橋満璃 俳句 優秀賞 原田厚子 短歌 優秀賞 松尾初夏 川柳 優秀賞 松尾初夏
- 「春日井製菓主催 深くて優しいエピソード」特賞 渡辺恵子
- 「朝日新聞社主催 SOMPO認知症エッセイコンテスト」SOMPOケア賞 渡辺恵子
- 「三井住友銀行主催 第8回わたし遺産」準大賞 渡辺恵子
- 「令和2年正倉院展短歌・俳句コンクール」短歌部門優秀賞 松尾初夏
- 「令和2年度茨木市立川端康成文学館俳句コンクール」一般の部優秀賞 松尾初夏

新入会員

(敬称略、カッコ内は推薦人)

早見 敏子 〒770-0863

徳島市安宅2-9-8 (竹内菊世顧問)

訃報

椎野 泰治さん (令和2年11月12日逝去)

ペンクラブ選集に昨年の正月、孫と楽しく遊んだことを書かれて
いました。ご冥福をお祈り申し上げます。(合掌)



○先日、丁山会長、関さんと一緒に、春の文学散歩
の予定地である鳴門市大麻町の大谷地区を巡って
きました。自宅からは5キロ程ですが、これまで
ゆっくり歩いたことはありません。何年か前、友
人と四国遍路を歩いて回ったとき、歩くことで、
その土地の様子がよく分かったのを覚えていま
す。歴史のある地を歩いて楽しみませんか。